



ミヤマキリシマ群生地の整備作業(亀石山)



植樹風景(日田市有林)



竹林の整備(日田市有林)



下草刈り作業(湯ノ見岳)

湯ノ見岳愛育会は、大分県日田市天瀬町の湯ノ見岳、亀石山、大分県玖珠郡玖珠町南老兼の日田市有林で活動する森林ボランティア団体。豊かな水源の森の再生を目指し、楽しみながら続けることのできる活動を展開しています。

忘れ去られた森の再生を願って

上野誠さんと妻の朋子さんが湯ノ見岳愛育会を立ち上げたのは、平成12年のこと。きっかけは、平成3年の台風19号により約8800haの風倒木被害を受けた大分県日田市の植樹ボランティアに参

加したことでした。

平成6年11月、「水源の森再生にかかわりたい」と考えた夫妻は、湯ノ見岳で行われた植樹に参加、倒木の伐採跡にヤマザクラやモミジなど数千本を植えました。数年後、「どんな森に育っているのだろう」と現地を訪れた夫妻が目にしたのは、一面スキヤカヤに覆われ、苗木の姿も見えない忘れ

去られたような森の姿。地元
の過疎化・高齢化もあって、植
林後に十分な管理が行われな
かったことを知った夫妻は、平
成11年に二人だけで、ひっそり
と湯ノ見岳山頂付近の下草刈
りをはじめました。

山と親しみ、 地元と交流する活動へ

二人だけの活動を通して、
素人でも森を守り育てるため
に役立つことができると感じた
上野夫妻は、平成12年2月か
ら森林組合の了解を得て、正
式に湯ノ見岳でのボランティア
活動をスタートしました。

さらに作業範囲・内容を充
実させるとともに、活動を通じ
て、参加者が山の自然を学び、
山の仕事を体験して、地元と
交流することを願い、毎月第4
日曜日を定例作業日として公
開。徐々に支援の輪が広がり、
今年10月までに行った152回

